


ビジネス・農業・産業支援サービス

○分科会での意見等を踏まえたサービス・取組について


高知県立図書館・高知市民図書館


区分	委員及び関係者の意見	現状及び課題等	サービス・取組の方向性	実施時期	
(1)図書館資料・情報の活用と整備・充実	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学会誌や商業誌、外国の文献等、仕事に活用できる専門図書(資料)を充実させてほしい。</li> <li>・ITを活用した産業の創出にニーズがある。この分野の情報もいただけない。</li> </ul>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料収集方針に基づき収集</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リクエスト申込書をカウンターに設置しているが、利用者や専門機関からのリクエストの受け方のルールづくりが必要。</li> <li>・観光、流通、コンテンツ・ビジネス(※1)、農業、食品加工等、高知県の課題となっている分野の資料、資格取得、就業、商店や商店街に役立つ資料について重点的に収集していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光、流通、コンテンツ・ビジネス、農業、食品加工等高知県の課題となっている分野の資料の他、資格取得、就業、商店や商店街に役立つ資料について重点的に収集していく。</li> <li>・専門機関の会合等に参加し、定期的に図書のリクエストを受ける仕組みをつくる。</li> <li>・リクエスト・サービスを周知するチラシの作成や、図書館ホームページへのリクエスト専用フォームの導入を検討する。</li> <li>・購入が難しい本は古書店等との取引も検討する。</li> </ul>	開館前から
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の市町村や関係機関が作成した資料や非売品のパンフレット等は、後から入手するのは困難なので、図書館で積極的に収集し保存してほしい。</li> </ul>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準に基づき資料の寄贈を受け付けている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重な資料を広く受け入れるための仕組みづくりが必要。</li> <li>・資料の受入れについて、予め関係機関等と繋がりをもち、ルールを決めておくことが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関や行政機関等に積極的に呼びかけをし、収集・保存・提供していく。</li> </ul>	開館前から
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古い資料の収集や処分される資料、個人で所有されている貴重な資料等をまとめて引き取る仕組みがあればよい。</li> </ul>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準に基づき資料の寄贈を受け付けている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重な資料を広く受け入れるための仕組みづくりが必要。</li> <li>・資料の受入れについて、予め関係機関等と繋がりをもち、ルールを決めておくことが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館が収集する資料のテーマと受入れ方等を検討・整理し、周知を図る。</li> </ul>	開館前から
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所有者が亡くなった場合や所属機関が解散した場合に、高知県にとって必要な資料が散逸しないように、図書館が引き受けるよう約束しておくことも大事ではないか。</li> </ul>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準に基づき資料の寄贈を受け付けている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重な資料を広く受け入れるための仕組みづくりが必要。</li> <li>・資料の受入れについて、予め関係機関等と繋がりをもち、ルールを決めておくことが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館が収集する資料のテーマと受入れ方等を検討・整理し、周知を図る。</li> </ul>	開館前から
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(新規事業を目指す人に対し、)事業計画書作成の支援をしていくにあたり、信頼性の高い情報(市場動向や、商圏分析)を様々な視点から集めたい。</li> </ul>	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のニーズに合った資料の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関からも情報を収集しながら、新聞記事、商圏分析、企業情報、市場動向等の調査に役立つ資料・データベースを整備・充実させていく。</li> </ul>	開館前から

区分	委員及び関係者の意見		現状及び課題等 	サービス・取組の方向性	実施時期
(1)図書館資料・情報の利活用と整備・充実	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット上で研究論文を検索できるサービスがある。図書館が会員になって論文検索するところまで整備するのか。</li> </ul>	<p>【現状】 科学技術情報の検索サービスを利用できるデータベースを県立図書館に導入。</p> <p>【課題】 複写サービスができる仕組みの検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学技術情報の検索サービスを利用できるデータベースを導入し、ビジネス支援に活用していく。</li> <li>・複写サービスができる仕組みを調査研究し検討する。</li> </ul>	開館時
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の著書やお薦め本を講演会場に置いて紹介してほしい。</li> </ul>	<p>【現状】 ・既に行っている事例あり。</p> <p>【課題】 ・書籍の販売を実施する場合等、事前の調整が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に講師と参加者の情報をいただくことにより、利用者のニーズに合った図書を出前図書館などで提供していく。</li> <li>・書店等との連携方法について検討していく。</li> </ul>	開館前から
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス支援では、データベースの活用など、有意義なツールを効率的に使って、時間をかけずに回答することが重要である。</li> </ul>	<p>【課題】 ・研修等による司書のスキルの向上 ・データベースなどのレファレンス・ツールの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県外研修、データベースの導入、専門機関と連携した取組による専門知識の習得や最新情報の入手等により、「情報のプロ」となるべく、司書の専門性を向上させていく。</li> </ul>	開館前から
(2)連携・協力してできること	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関と図書館が一つのチームとして事業者を支援する体制づくりが必要ではないか。</li> </ul>	<p>【課題】 ・専門機関の取組や業務を把握するため、専門機関との連携・協力体制の構築 ・司書が積極的に専門機関を訪問できる体制の整備 ・支援する司書のレファレンス力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関の行うイベントやセミナーに積極的に参加していく。</li> <li>・チームで事業者を支援する取組として、例えば、ココプラが行うビジネスプランコンテストのサポートチームに司書が参加する。</li> </ul>	開館前から
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業を目指す人のビジネスプラン作成のサポートチームへ図書館が参画する事はできないか。</li> </ul>			
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントカレンダーをつくってもらえるとありがたい。</li> </ul>	<p>【課題】 ・情報の収集方法と管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関の情報を共有し、図書館及び関係機関のホームページなどで情報提供していく。</li> </ul>	開館前から
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントカレンダーは商工サイドが中心になってつくってもらい、図書館が必要な情報を入れ込む方が、漏れがなくていいものができるのではないか。</li> </ul>			
	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品の良さやほかの類似商品との差等の説明ができない事業者が多い。図書館で資料を探せないか。</li> </ul>	<p>【現状】 事例は、少ないが、既にレファレンスとして受けている。</p> <p>【課題】 レファレンス・サービスの周知</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンス内容に応じて、図書館資料を提供していく。</li> <li>・起業したい方、商店等ターゲットごとにPR方法を考えていく。</li> </ul>	開館前から

区分	委員及び関係者の意見		現状及び課題等	サービス・取組の方向性	実施時期
(2)連携・協力してできること	14	<p>・「レフェラル・サービス」を機能させるには、図書館の司書と専門機関が必要に応じて直ぐに連絡できるような関係づくりが重要である。</p>	<p>【現状】 ・図書館と専門機関が連携した取組ができるように、関係づくりに努めている。</p>	<p>・専門機関のセミナーや講演会への参加、訪問、合同勉強会等により専門機関に信頼され、連携・協力した取組ができる司書を育成する。</p>	開館前から
	15	<p>・産業支援機関に図書館の機能を理解してもらい、場としての図書館、レファレンス・サービスをどんどん活用してもらい、そんな連携をしていくことが必要でないか。</p>			
	16	<p>・企業の相談に直接対応するのか、支援機関を対象とするのかレファレンスのやり方を考える必要がある。短期的・中長期的なレファレンス・サービスの仕組みをつくってもらいたい。</p>	<p>【現状】事業やビジネスに関する資料の問合わせは個人からのものが多い。 【課題】雑誌・新聞等の充実</p>	<p>・図書館の図書・雑誌・新聞・データベース等を使うレファレンスには個人・団体とも直接、対応する。これらの図書館資料や情報源を使っても対応しきれないものは、適切な専門機関を紹介する。 ・レファレンス・サービスにあたり、効率的かつ効果的な連携のあり方を専門機関と協議していく。</p>	開館時（一部開館前から）
	17	<p>・関係機関の職員を対象とした図書館活用講座を実施してほしい。</p>	<p>【課題】活用講座の周知とプログラムの充実</p>	<p>・関係機関と連携しながら、職員を対象にしたデータベースの紹介や資料検索方法等、対象者のニーズにあわせた図書館の活用と情報の探し方・活用講座を実施する。</p>	開館前から
	18	<p>・司書が専門機関でインターンシップ（のような、一定期間の研修）をすることも検討してみてはどうか。</p>	<p>【現状】司書の専門機関での一定期間の研修は未実施</p>	<p>・司書の専門機関での一定期間の研修を検討する。</p>	開館前から
	19	<p>・アクティブシニアに高知に移住してもらい高知版CCRC（※2）の取組を進めている。知識、スキル、ネットワークを持ったアクティブシニアの活躍の場が図書館にあるといい。</p>	<p>【課題】アクティブシニアに協力していただく図書館サービスの内容の整理・検討</p>	<p>・例えば、レファレンス・サービスへの協力やビジネス支援等、関係機関と連携しながらアクティブシニアの活躍の場の提供を検討していく。</p>	開館後

区分	委員及び関係者の意見		現状及び課題等	サービス・取組の方向性	実施時期
(3)新図書館スペース・設備等の活用、新図書館を活用したPR	20	・専門機関のセミナーや相談会を新図書館で実施できないか。	【課題】 ・施設利用方法のルールづくり ・企業PR支援に関する基準づくり	・専門機関と連携しながら、相談会やセミナーを新図書館のスペースを活用して実施する。	開館時
	21	・図書館と専門機関とが合同で図書館で企画展示ができないか。		・専門機関と調整のうえ図書館資料を選び、合同で企画展示を実施する。	開館時
	22	・ビジネス支援は個別の企業支援になる側面がある。専門機関のPRコーナーを設けたうえで企業PRの支援をする等、公平性の観点から支援の仕方にも工夫が必要ではないか。		・支援企業をPRするための専門機関用コーナーの設置を検討する。	開館時 (一部開館前から)
	23	・学生等に向けた高知の企業をPRする「高知に帰ってきたいあなたへ」コーナーができればいい。	【現状】県立図書館ジョブ・コーナー内に職業ガイドのコーナーを設置している。	・資格取得、就業支援等と合わせて高知の企業をPRするコーナーの設置を検討する。 ・(コーナーの設置にあたっては)収集・提供・保存の範囲や基準について検討する。 ・市町村立図書館にコーナーの設置を働きかけ、支援していく。	開館時(一部開館前から)
	24	・学生等への地元企業のPRについては、政策的な優先順位も高いと思うので、市町村立図書館と連携して取り組んでもらいたい。	【課題】企業をPRするコーナーの設置に向けた基準づくり		
	25	・消費者ニーズ調査に図書館を活用できるといい。 ・消費者モニターを図書館で募ることができればありがたい。	【課題】 ・施設利用方法のルールづくり ・企業PR支援に関する基準づくり	・関係機関と連携しながら、一定の基準を設けたうえで、図書館資料とともに県内企業の製品を展示し、商品のPRとともに県内企業の活動を支援する。 ・関係機関と協議・連携しながら、県産品野菜を使用した新商品の試食や、新図書館での新商品のモニター調査などの実施に向けた検討を行っていく。	開館時
	26	・専門機関で実施しているビジネス相談会等を図書館で紹介してもらえるとよい。	【課題】 ・相談会等の情報収集	・相談会などを紹介するポスターを掲示。(関連本の本棚の)利用者から見えやすい位置にチラシ棚を設置する(新図書館)。 ・図書館のWebサイトやFacebook、ブログ等で周知していく。 ・高知商工会議所、高知県産業振興センター等の関連機関への呼びかけを行う。	開館時 (一部開館前から)
27	・相談会に同席してもらい、図書を紹介いただくなどの連携ができればよい。		・出前図書館やブックリストの提供ができることを紹介する。	開館前から	

区分	委員及び関係者の意見		現状及び課題等 	サービス・取組の方向性	実施時期
(3)新図書館スペース・設備等の活用、新図書館を活用したPR	28	・商談会等を図書館で開催できないか。	【課題】 ・施設利用方法のルールづくり	・新図書館での商談会等の開催を検討する。	開館時
	29	・新図書館の全館Wi-Fiを活用して、うまく人の流れをつくり、情報発信もできればいいと思う。 ・来館者の関心分野に関連した新刊リストやお薦め本等の情報提供ができればよい。 ・Wi-Fiを使って個人が特定されない形で、来館者のデータがとれれば図書館の運営に活かしていけるのではないか。	【課題】 ・プライバシー保護	・プライバシーに配慮した形で検討する。 ・新図書館のWi-Fi機能を使った情報提供の可能性について協議していく。 ・利用者情報に紐づかない貸出統計を活用し、OPACでの検索時に関連本等の情報を提供することを検討していく。	開館時
	30	・図書館がコワーキング(※3)ネットワークのHUBになり、専門機関と提携して本があり議論ができるスペースを提供する仕組みの中心になるのは面白い。	【課題】施設利用方法のルールづくり	・グループ室、集会室等の活用を検討する。	開館時
	31	・図書館にファブラボ(※4)のような施設もくっついたらいいと思う。実際に作品をつくり展示するのもよい。	【課題】 ・施設利用方法のルールづくり ・高知みらい科学館との連携・協力	・高知みらい科学館では3Dプリンタなどの導入と工房を備える予定にしており、高知みらい科学館とも連携し、実現可能なレベルでの運用を検討する。	開館時
(4)図書館サービスのPR・周知	32	・専門機関が開催するセミナー等でビジネス支援サービスの紹介をしてはどうか。	【現状】 ・高知商工会議所やココプラで開催されるセミナーで出前図書館を実施する。 ・図書館Webサイトやブログ、Facebook等での周知  【課題】 ・イベント情報の収集 ・連携先の開拓	・セミナー等の開催時に時間をいただき、図書館のビジネス支援サービスの紹介を行う。 ・データベース一覧チラシやレファレンス・サービス利用の手引き等をセミナー参加者に配布し、サービスの周知を図っていく。	開館前から
	33	・Webを使ったビジネス支援サービスのPRを考えてはどうか。		・図書館のWebサイトやブログ、Facebook等での一層の周知を図るとともに、内容についても充実させていく。	
	34	・専門機関が実施する講座を図書館で開催して、データベースを実際に使ってもらってはどうか。 ・出前図書館の場で、レファレンスやデータベースの活用を促進するような紹介を行ってはどうか。		・セミナー会場に持ち込み可能なデータベースは、会場で実際に使ってもらうことで利用促進に繋げていく。 ・講座中あるいは講座終了後に、希望者を対象としたデータベースの説明・講習を実施する。	

区分	委員及び関係者の意見		現状及び課題等 	サービス・取組の方向性	実施時期
(4)図書館サービスのPR・周知	35	・専門機関の発行する広報誌・情報誌に図書館のサービスをPRしてはどうか。	<b>【現状】</b> ・高知商工会議所やココプラで開催されるセミナーで出前図書館を実施する。  <b>【課題】</b> ・イベント情報の収集 ・連携先の開拓	・専門機関の発行する広報誌等へ図書館サービスの情報を掲載してもらい、積極的に周知を図る。	開館前から
	36	・図書館でビジネス情報を収集できることが当たり前とは思われていない。図書館の外に出てアピールする営業、広報活動が必要。		・県内各地で開催される研修会などで市町村図書館等と連携して出前図書館を行い、図書館の取組・サービスなどのPR活動を積極的に行っていく。	開館前から

- (※1)コンテンツ・ビジネス・・・放送・映画・音楽・漫画・アニメ・ゲームなどの知的生産物について、その制作・管理・提供にかかわるビジネス
- (※2)CCRC・・・Continuing Care Retirement Community:シニア世代の方々が移り住み、介護・医療が必要となっても、持続的なケアや生活支援サービス等を受けながら、生涯学習や社会活動等に参加するような共同体
- (※3)コワーキング・・・事務所スペース、会議室等を共有しながら独立した仕事を行う共働ワークスタイル
- (※4)ファブラボ・・・3Dプリンタやカッティングマシンなど多様な工作機械を備えた誰でも利用できる工房